

# 遊び・学び・体験の場で、 子供も大人も笑顔あふれるコミュニティ！

## 大阪府吹田市

### 活動名

東佐井寺小学校区 太陽の広場による活動

### 関係する学校

東佐井寺小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		3人	101人	191日	有	無	無	無
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		東佐井寺小学校運動場・低学年図書室・地域交流室			17年度	一体型		
コミュニティスクール		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

- ・吹田市の「こどもプラザ事業」は、地域が一体となって子供たちを見守り育てるため、地域ボランティアの協力のもと、各小学校区において実施されている事業。平日の放課後、学校の施設を活用して、子供たちが安心して安全に過ごせる居場所を提供する「太陽の広場」と、土曜日等に体験活動の機会を提供する「地域の学校」からなる。
- ・「太陽の広場」の主な活動内容は、ボール遊び、鬼ごっこ、サッカー、野球、一輪車など、運動場で自由遊びをしたり、余裕教室を活用して自学自習や宿題をしたり、読書を行うことが中心。子供たちの自主的、創造的な活動を支援する。
- ・ブロックアドバイザー（市の非常勤職員・元校長、教頭、園長）が市内各校を巡回し、学校・留守家庭児童育成室などとの連携・調整や、フレンド（安全管理員）の育成と広場の運営を支援した。
- ・東佐井寺小学校区では、「こどもプラザ事業」として、平成17年度より水曜日の放課後に実施する「ひがさいっ子ステーション」を開始。平成18年度より、「太陽の広場」を開始する。
- ・「ひがさいっ子ステーション」は、年8回、全学年4時間授業になる水曜日の放課後に実施しており、「おもちゃ作り教室」「クラフト教室・ザ・エコ」「楽しい手芸」「絵本とあそび！わくわくタイム」「Enjoy English」など、多彩な講座を開設している。保護者からサポーターを募集することで、保護者と地域ボランティアとの交流の機会となっている。
- ・吹田市では週3回以上開催の小学校は登録制にしており、東佐井寺小もほとんどの児童が登録している。

## 特徴

### 【特徴的な活動内容】

- ・平日の放課後はほぼ毎日開催しており、年間実施日数が191日と大変充実している。1日当たりの参加人数も平均101人と非常に多い。
- ・「太陽の広場」の主な活動内容は、ボール遊び、鬼ごっこ、サッカー、野球、一輪車など、運動場で自由遊びをしたり、余裕教室を活用して自学自習や宿題をしたり、読書を行うことが中心。子供たちの自主的、創造的な活動を支援する。
- ・「ひがさいっ子ステーション」では、「おもちゃ作り教室」「クラフト教室・ザ・エコ」「楽しい手芸」「絵本とあそび！わくわくタイム」「Enjoy English」など、多彩な講座を開設しており、子供たちからも人気が高く参加人数も多い。
- ・放課後児童クラブの児童が、日常的に「太陽の広場」に参加するとともに、放課後児童クラブ主催の「たんぼぼまつり」に「太陽の広場」の児童が多数参加している。学生ボランティア（関西大学）がスタッフとして参加している。
- ・コーディネーター、放課後児童クラブ指導員、学校関係者、教育委員会事務局で、両事業の取組や子供たちの様子、合同研修等について、月1回の情報交換会を開催している。それとは別に、フレンドと担当のブロックアドバイザーで月1回フレンド会議を開き、情報の共有化を図っている。
- ・子供たちの活動を見守るフレンド（安全管理員）には19名の登録があり、基本的に1日3名で運営している。活動者の意欲は非常に高く、創設時より継続されている。

### 【実施に当たっての工夫】

- ・「ひがさいっ子ステーション」での活動に際しては、スタッフが準備や研究を十分行っている。また、保護者からサポーターを募集することで、保護者と地域ボランティアとの交流の機会とするなどの工夫をしている。
- ・フレンド同士で、会議での確認を綿密にし、周知徹底をしっかりと行っている。（欠席者にも情報が確実に伝わるようにしている。）



絵本とあそび！わくわくタイム

## 事業を実施して

- ・太陽の広場を毎日開催していることにより、学年に関係なく子供同士の交流が進んでいると感じる。
- ・子供たちと顔なじみになって、校外で会ってもあいさつ、会話ができる関係ができることが地域の方々の喜びと、続ける気力になっている。
- ・子供たちの「居場所作り」のために関わってきた大人たちにとって、この活動が実は地域の大人たちの「居場所作り」にもなっている。

## その他

- ・様々な地域の団体に属する方がスタッフとして入っている。そのため、太陽の広場の活動に対する地域の理解度がとても高い。
- ・新たな人々がスタッフとして入りたいという希望を受け入れる、地域の方々の温かい雰囲気が感じられる。



外遊びで異学年交流！